

「STEP 保護者・支援者向け集中研修」

# 変わっていく 思春期の身体と心を 大好きになる



## ～障がいのある子ども・若者の 性と生の理解と支援～

# 11月26日(日)

10:00～17:10 (9:30 受付開始)

発達に障がいのある子ども・若者が思春期を迎え、心が不安定になる中、彼らが変わっていく自分の身体や心を好きになることが大切です。そしてその大切さについて、保護者や支援者が学び、理解することが重要となります。この集中研修では、座学とグループワーク、模擬講座を通して、支援者や保護者が自ら「性と生」について彼らに伝えていける力を身につけることを目指します。

**対象** 障害児者福祉事業所職員、特別支援学校教諭、保護者、保育や福祉を学んでいる学生等

※15歳以下のお子様の同伴はご遠慮ください(託児はありません)。その他ご相談ください。

**定員** 50名

**スケジュール**

10:00～ 座学①	伊藤加奈子氏(産婦人科医) 「思春期の心と体の変化」 ～基礎知識を学びなおしましょう～
11:10～ 座学②	伊藤修毅氏(日本福祉大学准教授) 障害のある若者のセクシュアリティ の学びと支援
12:40～	休憩 ※昼食は各自でお願いします
13:40～	特別支援学校教員・福祉事業所職員 プロジェクト委員による、 模擬講座を見て意見交換
15:20～	グループワーク 事例検討会 コーディネーター 木全和己氏(日本福祉大学教授)
16:40～	共有・振り返り
17:10	終了

自慰行為は  
どう教えたらいいの？

男女交際は  
どう支援すればいい？



性教育って  
障がいのある子にも必要？



月経の手当が伝えられない…

職員にボディタッチ  
してくるけれど、  
どう対応しよう…

**参加費** 3000円

※当日現金でお支払いください。

**会場**

名城大学ナゴヤドーム前キャンパス  
西館 レセプションホール DW207

〒461-8534 名古屋市東区矢田南四丁目 102 番 9  
TEL : 052-832-1151

※お申し込みはウラ面

主催 特定非営利活動法人子ども&まちネット STEP プロジェクト委員会

## 「STEP」は、

特定非営利活動法人子ども & まちネットが主体となり、障がい児者の支援に携わる学識者、医師、特別支援に関わる教育者、福祉事業所職員、企業、保護者が集まって、発達に障がいや不安がある子どもや若者に対する性と生の学びを進めているプロジェクトです。

これまでさまざまな形の学びの場を開いてきましたか、学びをより深めるために講座の内容の検討を重ね、わかりやすいプログラムと教材の作成・提案をしています。

## 会場アクセス

- 地下鉄名城線  
「ナゴヤドーム前矢田」駅2番出口徒歩約3分
- JR中央線・名鉄瀬戸線・地下鉄名城線  
「大曽根」駅徒歩10分
- ゆとりーとライン  
「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩5分



## お問い合わせ・お申し込み

特定非営利活動法人子ども & まちネット 「STEP 集中研修」係 まで  
TEL&FAX: 052-768-5914 MAIL: step.komachi@gmail.com  
郵送: 〒464-0076 名古屋市千種区豊年町3-18 UR 都通団地1棟111号室  
URL: <http://www.komachi-111.com/>

QRコードからも  
お申し込みできます



氏名	お立場 (例: 支援者)	電話 (昼間連絡のつくもの)
住所 (自宅・勤務先) 〒		FAX (自宅・勤務先)
メールアドレス (step.komachi@gmail.com からのメールが届くように設定してください)		
備考		

## 講師プロフィール

### 伊藤 加奈子 氏

ココカラウィメンズクリニック院長  
NPO 法人ウーマンリビングサポート代表理事  
NPO 法人全国こども福祉センター理事



愛知医科大学卒業。東京女子医科大学病院、愛知医科大学病院、個人開業産婦人科勤務を経て、女性のためのココカラウィメンズクリニックを開院。

### 伊藤 修毅 氏

日本福祉大学子ども発達学部  
心理臨床学科障害児心理専修准教授

北海道率高等養護学校教諭を経て現職。研究分野は特別支援教育など。著書に「イラスト版発達に遅れのある子どもと学ぶ性のなし：子どもとマスターする性のしくみ・いのちの大切さ」他。



### 木全 和巳 氏

日本福祉大学社会福祉学部  
社会福祉学科教授



名古屋市あけぼの学園、名古屋市楠学園などを経て、現職。研究テーマは権利擁護、インバウメント、障害者自立支援法等のしょうがい児者養護施設における性と生の指導援助実践など。著書に「"しょうがい"のある思春期・青年期の子どもたちと"性"—おとなになりゆく自分を育む」他。